

ようちえんで がんばってるよ！

- 幼児を育てる仕事をつづける楽しさ -





目次

	はじめに 先輩からのエール これから保育者を目指す人へ 今、がんばって働いている保育者へ	1~2
---	--	-----

	1. 「せんせい」は1日にして成らず	3~6
---	--------------------	-----

	2. 失敗しても大丈夫！ ①みんな色々悩んでる ②こんなこともあったよ ③こうやって乗り越えたよ	7~13
---	---	------

	3. そして「せんせい」になる(マンガ)	14~18
---	----------------------	-------

	ヤギ園長からのメッセージ	19
--	--------------	----

	資料:いろいろな幼児教育施設	20~22
--	----------------	-------

はじめに 先輩からのエール

これから保育者を目指す人へ

保育者は幸せをいっぱい感じる
ことができる、やりがいのある
お仕事です。

「makiron」

子どもたちの笑顔を見て、一
緒に大声で笑ったり、感動し
たり、嬉しくて泣いたりでき
る、そんな素敵な仕事、他には
ないと思います。子どもたち
と一緒に成長できる仕事です。

「ねこ丸先生」

子どもたちと過ごす日々は
いつもとても充実していま
す。がんばってください。

「ちか」

無限の可能性を秘めた子ど
もたちを育てていると思う
と、この仕事にやりがいを感じ
られると思います。

「わたなべ」

専門性の高い仕事だと思い
ます。心も身体も忙しいけど、
でも、それ以上に返ってくる
ものが大きすぎて、こんなに
幸福感とエネルギーを得られ
る仕事はなかなかないと思
います！

「えりこ」

テレビ局よりクリエイティ
ブ。0歳でも友情は結べると
実感してください。

「なるこ」

四季を感じながら、子どもた
ちと一緒に笑ったり悩んだり
する毎日は退屈知らずで、こ
の職の醍醐味だと思います。
楽しく充実した日々を一緒に
過ごしましょう！

「まつこ」

かわいい子どもたちの成長
をそばで支えるとても素敵で
やりがいのある仕事です。「先
生、大好き！」と言ってもらえ
る喜びは最高ですよ！

「ひまわり先生」

今、がんばって働いている保育者へ

苦しいことは、その時だけ。楽しい思い出は、ずっと忘れず、残っていますか。今、困っていることも、きつと乗り越えられます。自分の力を信じ、発揮して、がんばりましょう!!自分でも気付かない、すごい自分!に出会えますよ。

「だんごむし先生」

様々な対応が求められる毎日、大変ですが、子どものことを語り合う、あの幸福な気持ちを味わいながら、共にがんばっていきましょう!

「えりこ」

保育は、子育て・親育てをしている間に自分育てにも繋がる、それぞれのよさを育む素敵な勤めだと思います。心豊かに共にがんばっていきましょう。

「あきちゃん」

人を育てる仕事をしている人同士、共感や共有しあうことは大きな励みになります。意外と皆さん同じような悩みを持っているものですよ。

「ミ」

あなたのがんばりは誰かが見てくれています。「継続は力なり」全国に同じ志の仲間がたくさんいます。一緒にがんばりましょうね!

「ひまわり先生」

保育の仕事に求められる事が増えてきましたが、1人で抱えず、仲間と一緒にがんばっていきましょう。

「なかむら」

1. 「せんせい」は1日にして成らず

保育者の成長は蝶にたとえて

○フレッシュ保育者

(初任から5年以内)

保育経験が豊かといえない様々な遊びの面で子どもがどう考え、感じ、活動を展開するのについて、保育経験が豊かな保育者よりは、推察しにくい段階

※青虫の世界

・蝶になつてからの空を飛んだ時に見える景色も見えない
・甘い蜜を吸つこともできない
・緑の葉っぱが一面に広がっているだけ

卵からかえったばかりの青虫

◎必要なこと

とにかく目の前にある緑の葉っぱをできるだけたくさん食べて太ること

試行錯誤を重ねながら、積極的に子どもと関わって、様々な場面で子どもの考えていること、感じていることに触れる経験を積み重ねること



☆空も飛べず、甘い蜜も吸えないことに失望するのではなく、とにかく目の前の葉っぱをできるだけたくさん食べ続けることが大切

○ミドル保育者

(5～10年)

ある程度豊かな保育経験を持つ

子どもの考えていることや感じていることを概ね推察でき、子どもたちが遊び込む状況を創り出すこともそれほど難しい段階

さなぎからかえったばかりの蝶

◎必要なこと

← 思い通りにしっかりと飛べるようになり、甘い蜜がある花を探し出せるようになること

※飛び始めた蝶

← しっかりと飛ぶ練習をし、様々な場所に飛んでいって甘い蜜のある花を探し出す経験の積み重ねが必要

← 子どもの学びを深めるために、どのような環境を設定し、どのように子どもにかかわるのかを思索すること



○ミドルリーダー保育者

(10年以上)

極めて豊かな保育経験を持つ

子どもの考えることや感じることをほぼ明確に推察でき、様々な視点から、子どもたちが遊び込める状況を、環境設定や子どもとの関わりの中で創り出せる優れた実践力を伴った段階

思い通りに飛べて、

容易に甘い蜜のある花を探し出せる

経験豊かな蝶

◎必要なこと

すぐに探し出せる花だけでなく、自分が思い描いたことがない違った場所に今まで味わったことのないさらに甘い蜜がある未知の花を求めて、さらに飛ぶ範囲を拡げ続けること

ほとんど失敗のないある程度の質を保った「外さない保育」ができる

日々の保育において今まで自分の知識や経験だけに頼った保育ではなく、常に自らの保育を厳しい目で見つめ直し、保育実践のさらなる高みを目指すこと



保育者集団→蝶にたとえて

○保育者集団↓青虫、飛び始めた蝶、
経験豊かな蝶と一緒にいる集団

◎保育現場での協働と保育者集団のダイナミックな
育ち合いにとって大切なこと

特に青虫（フレッシュ保育者）に対する周囲
の蝶たち（ミドル保育者、ミドルリーダー保
育者）のかかわり方には配慮が必要

※青虫と蝶ではあまりにも見えるものに違いがある

蝶↓青虫

できないことばかりが目につく
（飛べない、蜜も吸えない）



※できないことばかり指摘される

自信を失い、本来懸命にやるべき
葉っぱを食べる意欲さえも失う

蝶に求められること

●青虫のできないこと、できる
ことを明確に認識する

●自らが手本となり、後の素敵
な世界に期待を持たせる

●失敗を恐れず、とにかく目の
前の葉っぱをたくさん食べる
ことを促し、励ます



☆ すべての青虫が、将来、立派な蝶になることを願いたい

参考文献：田村隆宏、道徳財から豊かな遊びを創り出すために、

保育キャリアからのアプローチ、鳴門教育大学附属幼稚園
園研究紀要第四十八集、九十九ー一〇六頁、二〇一五年

2. 失敗しても大丈夫!

1
みんな色々悩んでる

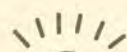
保育者としての経験が浅い頃や若い頃に、保育の中で「失敗したなあ」や「困ったことになったなあ」と思った経験はありましたか。

\よくあった/
100%

100%の保育者が
「よくあった」
と回答しています!

- 少しはあった (0%)
- あまりなかった (0%)
- 全くなかった (0%)





2 こんなこともあったよ

保育者の声を集めました。

担任になった当初、子どもたちへの声かけをいくら頑張っても、それが子どもたちの「心」になかなか届きませんでした。そして子どもは素直なので、そんな私の焦る気持ちを見抜いていたように思います。どうして良いかわからなかったので、日々、保育に悩み、苦しんでいました。

【わたなべ】

みんなで何かをする集団活動になると、大泣きをして保育室の隅に行ってしまう子がいて、理由が分からず、どう対応して良いかすごく悩んだことがありました。

初任の頃、自分が近くで見守っていた鉄棒で遊んでいる子どもが、突然手を離し、顔から落ちてしまって口の中を縫うけがをさせてしまいました。

【なかむら】

子どもが泣いている理由が全くわからず、「どうしたの?」「転んだの?」と尋ねました。するとその子どもは、「足が痛い」と言いました。新人だった自分は、転んだ場面を見ていなかったにもかかわらず、子どもの訴えをそのまま受け止めてしまい、へ廊下で転んで足を打ち、その痛さで泣いていると推測し、そのあと対応してしまったことです。

【ひまわり先生】



「先生」のイメージに囚われすぎていて、クラスをまとめるのに必死でした。そんな自分の姿を、子どもたちが「ごっこ遊び」のなかで再現していて、ハッとしました。先生役の子どもたちの口調が、「□うるさい親分」みたいで私そっくりだったのです。

【T.M】

上司の先生から認めてもらうことに一生懸命になりすぎて、とにかく波風のたたない保育、計画通りの保育をこなすことに夢中になってしまっていたことです。結果、子どもたちと向き合うことができず、思いの「ズレ」が生じてしまいました。頑張れば頑張るほど、「空回り」の毎日でした。

【makiron】



他のクラスはよくまとまっているのに、自分のクラスだけ子どもたちが自分の話を聞いてくれず、「私はこの仕事、向いてない」と思い、悩み、落ち込みました。

【ねこ丸先生】

【子どものかかわり】

▼子どもの笑顔

▼子どもと一緒に達成感や喜びを感じること

▼子どもの成長

子どもの豊かな可能性

年度末近くになり1年を振り返り感じる子どもたちの成長の実感

クラス担任の自分の存在が子どもたちにとって、家族の次に大きな存在になっていることを感じる

【保育の面白さ】

▼大変なことよりも、日々の感動の方が大きい

▼大人の考えを越えてくる子どもたちの想像力

▼毎年起こることが違う

▼失敗は、保育の面白さに向き合えるきっかけ

▼子どもが育つということ

への感動とその場にいられることの幸福感

▼難しいと思っていたクラスの子どもたちほど、やりがいと感動を与えてくれる



【心構え】

▼「失敗は、だれにでもある。」と思うこと

▼失敗を経験して、いろいろと考えたことが、子どもたちの育ちや自分の成長につながる

▼自信や、やる気は、仕事へのやりがいへと、変わっていく



【同僚の保育者とのかわり】

▼同僚の先生からの「先生、大丈夫」の言葉

▼周りから、認めてもらえることで、もっと頑張ろう！と思う

▼すてきな保育者や、尊敬する園長先生方との出会い

▼周りの先生たち（仲間）の存在が安心感と支えに

▼周りの先生との支え、支えられる関係性

▼園長先生が頑張り気付き認めて、かけてくれるあたたかい言葉



【自分の生活と保育】

- ▼自分の子育てをすることで、保育の仕事の魅力をより実感した
- ▼家族から日頃の頑張りを認められ、幸せな気持ちに

「先生、やめるなんてもったいない。これからますますいろいろな経験をして、ホンモノの先生になっていくのだから。頑張って保育の仕事を続けていてほしいなあ」



【保護者とのかわり】

- ▼卒園・進級の際に、「ありがとう」と涙を流してお礼を言っていたこと
- ▼仕事を続けるかどうかに自信もなくどうしようかなと思っていた頃、保護者からいただいた言葉











この時ようやく
さつきは
「せんせい」になる
第一歩を踏み出し
たのです



ヤギ園長からのメッセージ

幼児期の教育は「人格形成の基礎」を培うために重要です。私たち保育者自身が人と向き合い、自分と向き合いながら人格を形成している姿を見せることが、子どもたちにとって一番の教育なんです。困ったり、悲しくなったり、悩んだりすることは、「せんせい」としてがんばっている証拠なのです。

幼稚園でがんばっている「せんせい」のその姿が子どもたちを育て、保護者の方を育てているんです。私たち保育者仲間だって、頑張りながら成長しているあなたの姿に勇気づけられているのです。

私も若ヤギの頃は「もう、やメェ〜て〜」なんて、よく鳴いたものです。みんなの先輩だってね。ほら、こんな風に乗り越えて、素敵なお先輩保育者になったんです。

あなたは一人じゃない。

みなで、あなただけにしかない

サイノウ(才能)、「保育のチカラ」を

育てていこうよ。



ヤギ園長

資料：いろいろな幼児教育施設

幼稚園・保育所・認定こども園

それぞれ異なった設立の目的や

役割、法律がありますが、

それぞれの良さを生かした子育て

で支援が必要とされています。



ようちえんは学校です

幼稚園教諭は文部科学省の管轄

幼稚園教諭とは、文部科学省の管轄で、学校教育法に基づいて教育を行う教員です。「児童福祉施設」とされている保育所に対し、幼稚園は幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする「学校」です。

教育を目的とした施設での仕事になりますので、子どもの対象年齢は3歳〜就学前です。主な職場は、幼稚園です。

● 幼稚園教員免許が必要です。

● 短大で二種、大学で一種資格が取得できます。

保育士はこども家庭庁の管轄

「保育所・児童養護施設などの児童福祉施設で、保護者に代わって子どもの保育をする子育ての専門家」です。こども家庭庁の管轄で、児童福祉法に基づいて保育をします。

保育園は学校ではなく児童福祉施設ですので、俗に「保育園の先生」といわれる保育士は、正確には福祉の従事者です。家庭に代わり子どもを保育することが目的であり、子どもの対象年齢は0歳〜就学前となります。

● 保育士資格が必要です。

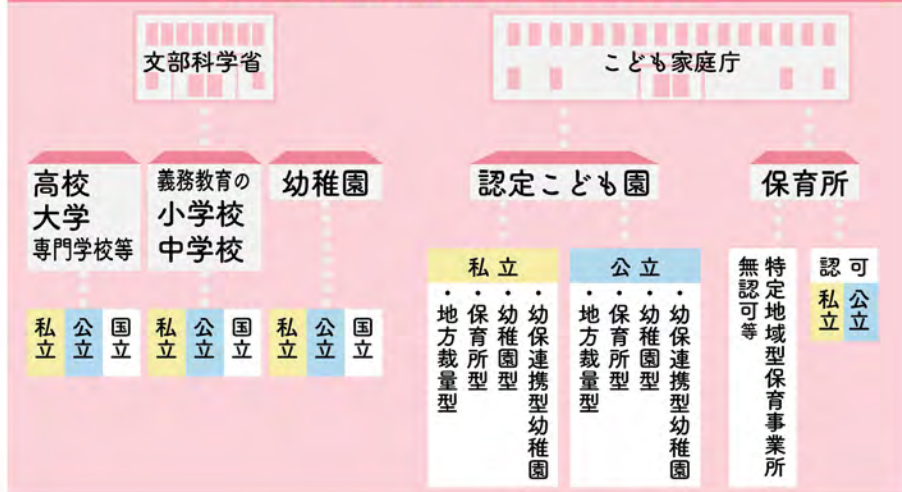
● 大学・短大・専門学校または国家試験で取得できます。

認定こども園は保育教諭です。
両方の資格が必要です。

日本の 乳幼児教育界は 複雑

＼ 一筋縄ではいかない事情 ／

我が国の乳幼児教育界は世界でも希な複線型



ようちえんで がんばってるよ！

—幼児を育てる仕事をつづける楽しさ—

令和 6 年 12 月発行

事業名 文部科学省

令和 6 年度「大学等を通じたキャリア形成支援による幼児教育の「職」の魅力向上・
発信事業（「職」の魅力向上と人材確保の好循環を生み出すモデル創出事業）」

発行者 国立大学法人鳴門教育大学

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地

電話番号 088-687-6101（鳴門教育大学教務部学術情報推進課教育連携企画係）

E-mail youji@naruto-u.ac.jp（鳴門教育大学大学院学校教育研究科 幼児教育コース）

イラスト
まんが 加藤 美香

印刷 協業組合徳島印刷センター

〒770-8056 徳島県徳島市問屋町 165

電話番号 088-625-0135



いっしょに
がんばってみませんか

